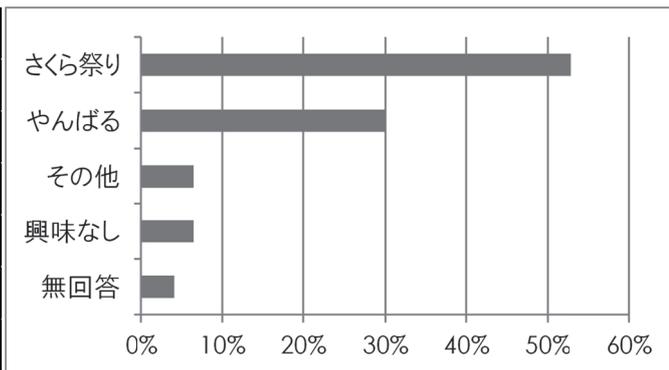


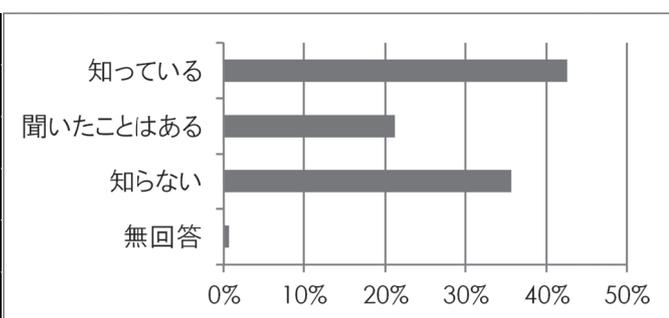
問2 この催し物に興味を持ったものはありますか？

選択肢	回答数	割合
さくら祭り	245	53%
やんばる	139	30%
その他	30	6%
興味なし	30	6%
無回答	19	4%
合計	463	100%



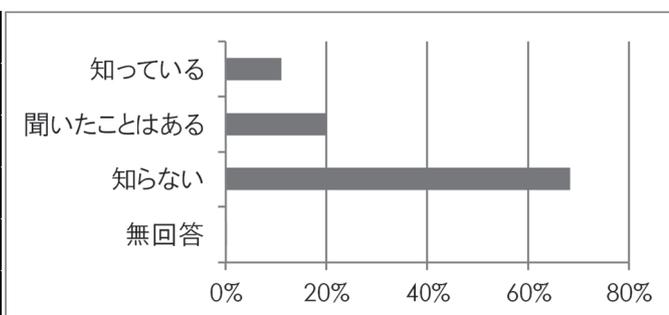
問3 日本一桜の開花が早いのは沖縄ということをご存じですか？

選択肢	回答数	割合
知っている	197	43%
聞いたことはある	98	21%
知らない	165	36%
無回答	3	1%
合計	463	100%



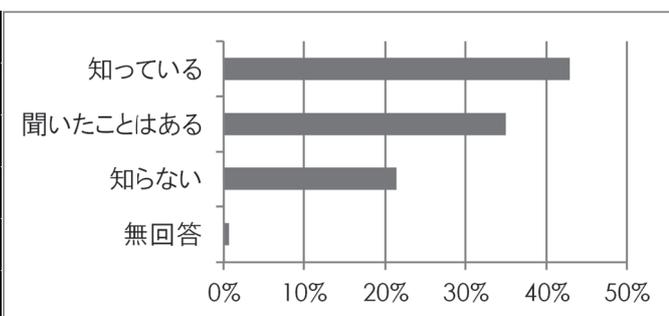
問4 名護市、今帰仁村、本部町で毎年行われている「さくら祭り」をご存知ですか？

選択肢	回答数	割合
知っている	52	11%
聞いたことはある	93	20%
知らない	317	68%
無回答	1	0%
合計	463	100%



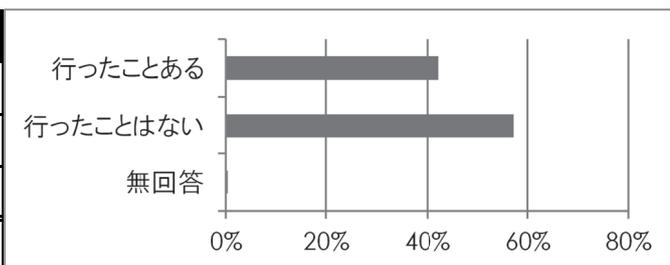
問5 やんばる（沖縄本島北部）という地名をご存じですか？

選択肢	回答数	割合
知っている	199	43%
聞いたことはある	162	35%
知らない	99	21%
無回答	3	1%
合計	463	100%



問6 美ら海水族館に行ったことはありますか？

選択肢	回答数	割合
行ったことある	196	42%
行ったことはない	265	57%
無回答	2	0%
合計	463	100%

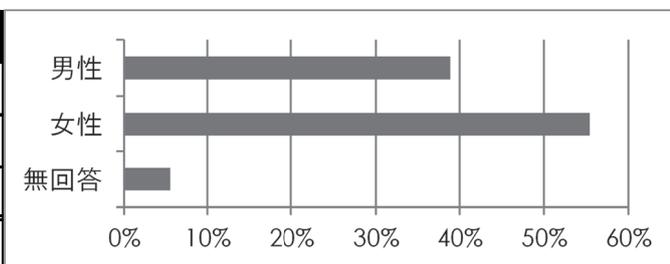


問7 水族館に期待する事（自由意見）※資料編に掲載。

問8 ご自身について教えてください

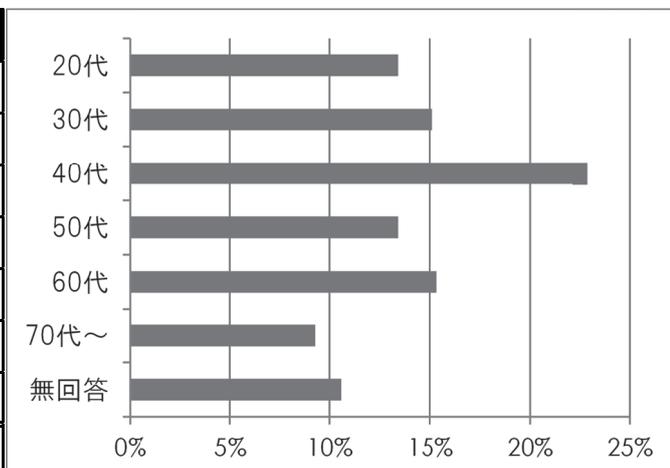
【性別】

選択肢	回答数	割合
男性	180	39%
女性	257	56%
無回答	26	6%
合計	463	100%



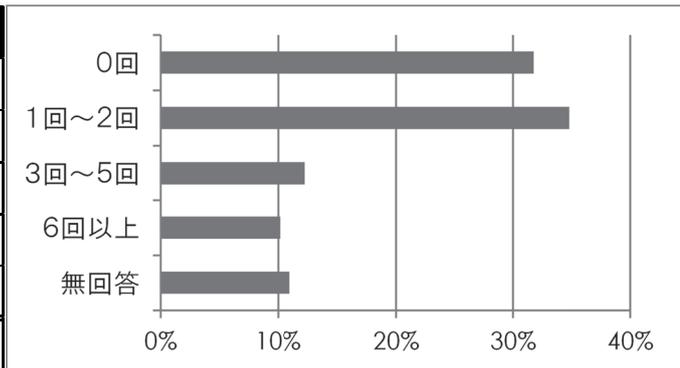
【年代】

選択肢	回答数	割合
20代	62	13%
30代	70	15%
40代	106	23%
50代	62	13%
60代	71	15%
70代～	43	9%
無回答	49	11%
合計	463	100%



【今まで何回沖縄に行きましたか？】

選択肢	回答数	割合
0回	147	32%
1回～2回	161	35%
3回～5回	57	12%
6回以上	47	10%
無回答	51	11%
合計	463	100%



2) 旅行社訪問

① 目的

- 今年度、エリア別で取り組んできた連携プロジェクトについて取組み内容をプレゼンすることにより、旅行社に取組みを認知してもらおうとともに、課題等の意見を徴収することを目的として実施した。

② 実施概要

- 東京都内にオフィスを構える下記表の3社を訪問し、エリア別連携プロジェクトのプレゼン、意見交換会を行った。

表 旅行社訪問の概要

名称	旅行社訪問
訪問先	東武トップツアーズ株式会社 株式会社 JTB 国内旅行企画 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社
日時	平成 28 年1月8日(金)
内容	エリア別連携プロジェクトのプレゼン、意見交換



旅行社プレゼン (株)JTB 国内旅行企画



旅行社プレゼン 東武トップツアーズ

(3) 成果と課題

①事業の成果

- 来場者数 4,953 人(パンフレットを受け取った方とその同伴者)、アンケート回収数 463 件であった。
- やんばる 12 市町村と沖縄美ら島財団が、連携して取り組む機会ができた。
- 今回は出展コーナーへの訪問を目的とした方ではなく、通りすがりの人にアンケート調査を行えたことから、広く一般的な意見を聞くことができた。
- やんばるという地域の認知度を把握することができた。美ら海水族館を訪れたことのある方が 57%と過半数を超えていた。
- 各旅行社へ、広域的な取組みをしていることをアピールすることができた。
- 旅行社へのキャラバンは取組みを知ってもらうための有効な手段であり、旅行社も「やんばる」という広域圏での取組みとして認識してもらう機会となった。
- 各エリアの取組み内容に応じて、課題となる意見が得られた。
- 旅行社は、今後他社との差別化を図るための地域の隠れた素材を探しており、企画や提案があればぜひ情報交換をしていきたいという協力関係ができた。実際に、この後エリア別連携プロジェクトのモニターとして、東海岸エリアと南エリアに招聘することができた。
- 旅行社からすると、地域がまとまって窓口を一本化していくことが望まれるとの要望もいただいた。

②今後の課題

- 全エリア共通して窓口の一本化という課題があるので、それを検討していく必要がある。
- 意見交換で得た情報を各エリアで落とし込み、どのように商品化していくかが今後の課題となってくる。
- やんばるには、まだ観光地となっていない資源が多くあり、旅行社が販売しやすいよう、地域の素材を効果的に PR していかなければならない。
- 着地型観光を発信していく方法を、やんばるという広域で一体的に取り組んでいく必要がある。
- 旅行社・個人客それぞれに対し、どのように情報発信していくか、情報の発信先や内容についてのニーズ調査結果等とも照らし合わせながら検討していく必要がある。

3-2. スタンプラリーの実施

(1)目的

- ・ やんばる地域において観光客の周遊や消費促進を目的として、道の駅・農産物直売店 17 事業所に加え、ホテル 13 事業所を加えた 30 事業所にてスタンプラリーを実施した。

(2)実施概要

①開催概要

開催期間:平成 27 年 12 月 19 日(土)～平成 28 年2月 29 日(月)

実施方法:各店舗の特産品、やんばる地域のイチオシグルメを紹介した割引特典を付けるなど工夫を行い、グルメ情報が盛り込まれたスタンプラリー冊子を作製した。

各店舗及びダイレクトメール、レンタカー店舗、野球オープン戦等で配布をした。

応募方法:参加店舗に設置してあるスタンプ(得点制)で合計3点以上集め、投函する。

景品 :特賞(5点以上) ホテル宿泊券+特産品詰め合わせ 3名分

A賞(4点以上) ホテル食事券+特産品詰め合わせ 13名分

B賞(3点以上) 特産品詰め合わせ 55名分

※景品は冊子の広告費に代わる対価として各参加店舗から提供頂いた。

参加店舗一覧:

	名 称	所在地
1	道の駅許田やんばる物産センター	名護市
2	今帰仁の駅そーれ	今帰仁村
3	「道の駅」ゆいゆい国頭農産物販売コーナー	国頭村
4	未来ぎのぞ宜野座村特産品加工直売センター	宜野座村
5	おんなの駅「なかゆくい市場」	恩納村
6	伊豆味物産センター「伊豆味みかんの里」	本部町
7	ファーマーズマーケットやんばる はい菜! やんばる市場	名護市
8	いこいの駅いずみ	本部町
9	橋の駅リカリカワルミ	今帰仁村
10	東村特産品加工直売所 サンライズひがし	東村
11	ネイチャーみらい館	金武町
12	大浦わんさかパーク	名護市
13	熱帯ドリームセンター	本部町
14	田空の駅ハー・ソー	本部町
15	羽地の駅	名護市
16	しまちゆらら	名護市
17	琉球村	恩納村
18	沖縄かりゆしビーチリゾート	恩納村
19	スパリゾートEXES	恩納村
20	ANAインターコンチネンタル万座ビーチ	恩納村
21	リザンシーパークホテル 谷茶ベイ	恩納村
22	サンマリーナホテル	恩納村
23	カフリゾートフチャクコンドホテル	恩納村
24	ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート	恩納村
25	沖縄サンコーストホテル	名護市
26	喜瀬ビーチパレス	名護市
27	ホテルゆがふいんおきなわ	名護市
28	ホテルマハйнаウエルネスリゾートオキナワ	国頭村
29	オキナワマリオットリゾート&スパ	名護市
30	本部グリーンパークホテル	本部町

②スタンプラリー実施風景

スタンプラリーを開催するために、台紙(8p カラー)、ポスター、ノボリ、スタンプ、投函箱を製作し、参加事業社へ配布及び設置を行った。

スタンプラリーポスター

スタンプラリー設置風景



いこいの駅伊豆味



おんなの駅

スタンプラリー用台紙(8p カラー)

やんばるのグルメをめぐって、特産品を当てよう!

沖繩北部「やんばる」の道の駅・直売店・ホテルが大集合!

やんばる、ほおばるスタンプラリー

やんばるのイチ押しグルメがまわります。

開催期間: 平成27年12月19日(土)～平成28年2月29日(日)
応募締切: 平成28年3月5日(日) (郵送の場合、同月有効)

沖繩北部観光情報コミュニケーションサイト
http://yanbaru-tour.net/

Facebook: https://www.facebook.com/yanbarutour

北都城市町村農事協組合 平成27年度やんばる観光推進推進事業
北都城市/スタンプラリー運営事務局 株式会社 北都城市 096-242-0001

表紙 P1と裏表紙 P8

イチ押しグルメをめぐって特産品を当てよう!

やんばる、ほおばるスタンプラリー

開催期間: 平成27年12月19日(土)～平成28年2月29日(日)
応募締切: 平成28年3月5日(日) (郵送の場合、同月有効)

スタンプラリーのルール

1. 本紙に掲載している各箇所のスタンプは、紙1枚につき1個のみ押すことが可能です。
2. 各箇所に押したスタンプの枚数によって、応募できる賞品が異なります。(くじくじは抽選方法は2Pに記載ください)
3. 賞品は、抽選日に抽選している箇所に設置されている「やんばる、ほおばる」スタンプラリー事務局にて抽選を行います。または郵送にて応募票を入れて下記まで送付をお願いいたします。抽選結果は抽選日の翌日より抽選結果発表となります。

スタンプラリーで押さえてほしい箇所のリスト

1. 道の駅
2. 直売店
3. 特産品

Point

那覇空港からの移動距離が近いほど、採点率が高くなります。

3点以上、5スタンプ1つから応募できます。

合計 _____ 点

アンケートに答えて応募しよう! (抽選にポイントが貯まる可能性があります)

希望賞品に○印をつけてください。 **特賞・A賞・B賞**

抽選日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名: _____ 年齢: _____ 性別: _____

住所: _____

〒 _____

電話番号: _____

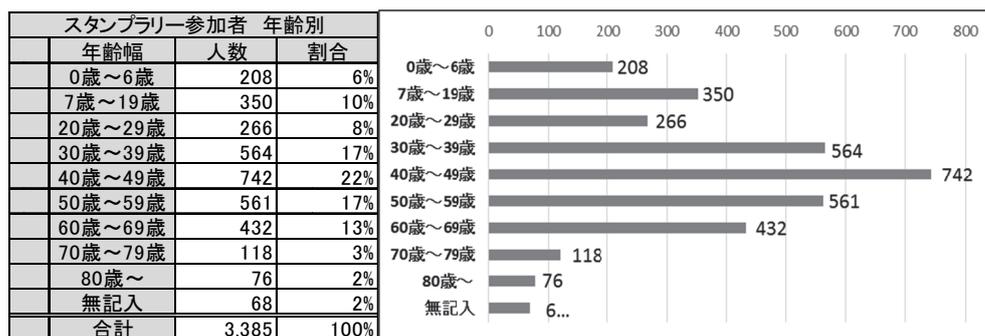
Eメール: _____

※抽選結果は抽選日の翌日より発表いたします。抽選結果は抽選日の翌日より発表いたします。

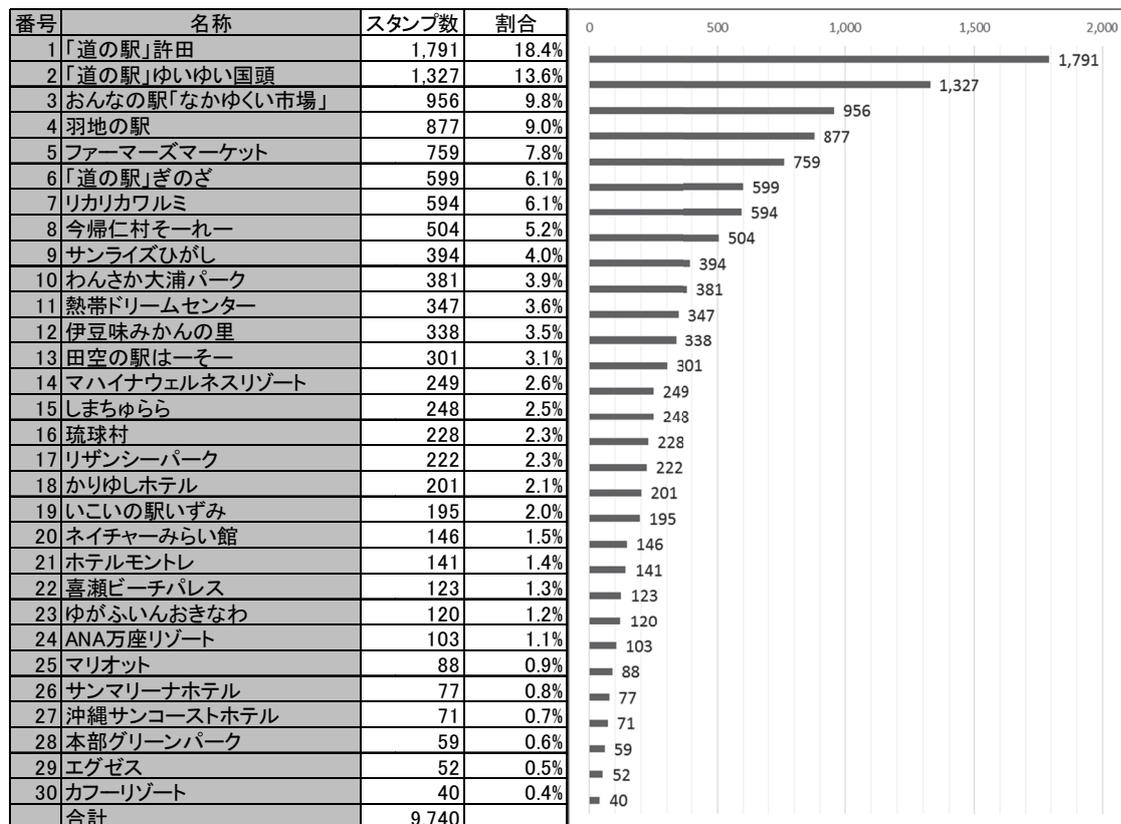
P2～P3

- ・ ホテルは出発点となったが、周遊の対象は成り得にくいことが伺える。
- ・ 参加者は、県外が69%、県内が31%であった。
- ・ 参加者は都道府県別では、沖縄県が一番多く、次に東京、神奈川となっており、本土の地方別では関東地方の参加が沖縄の次に多かった。
- ・ 1人当たりの訪問箇所は、スタンプ押印数で数えると約3~4箇所であり、3箇所以上周ったこととなる。

図表 年齢別参加者



図表 参加店舗別スタンプ数



図表 応募者別居住区域(地方別)

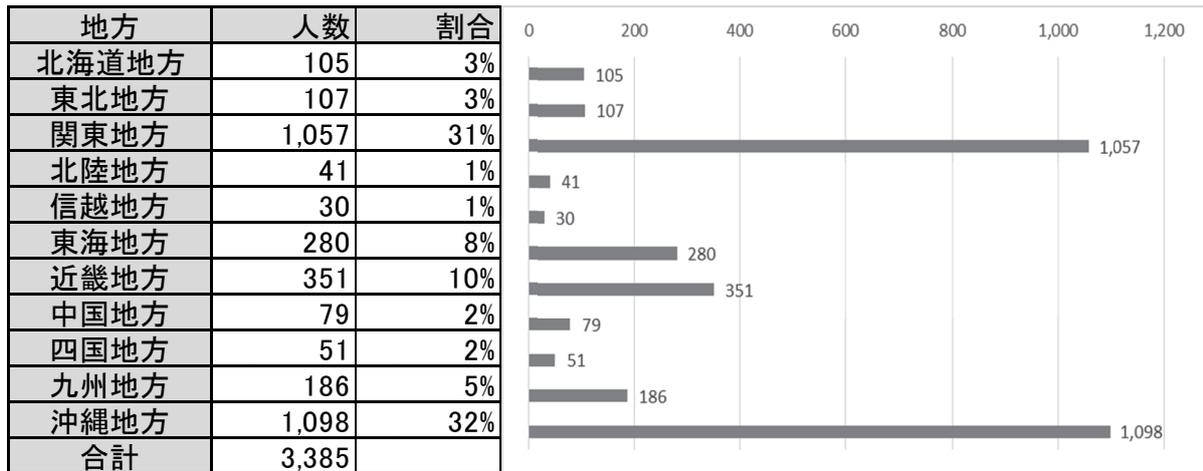


表 冊子総配布数

	配布先	配布数
1	本土発送(ダイレクトメール)	8,100
2	レンタカー店(那覇空港近辺)	6,700
3	野球キャンプ	5,700
4	東京プロモーション	3,000
5	「道の駅」許田やんばる観光案内コーナー	2,950
6	参加事業社(30社)	30,300
	合計	56,750

図 ホテル宿泊者への冊子配布数と宿泊ホテル別応募者数

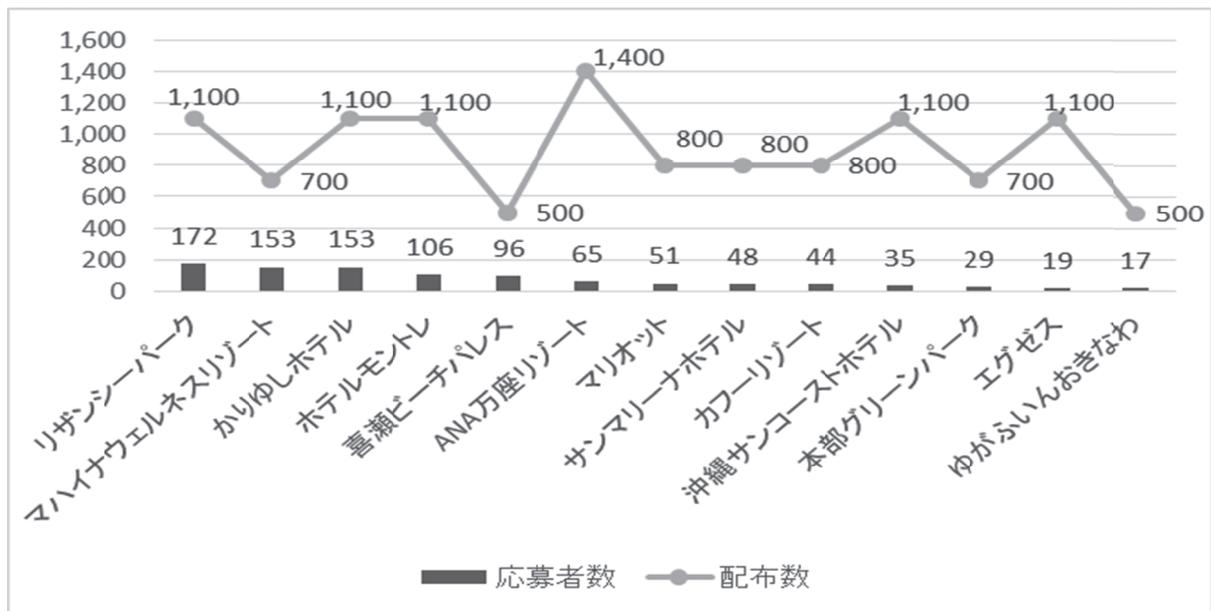


表 宿泊地域別スタンプ数

参加事業所	宿泊地														その他		県民	
	北部全域				中部				中南部				割合	割合	割合	割合		
	割合	名護市	割合	本部町	割合	恩納村	割合	中部	割合	那覇	割合							
1 「道の駅」ゆいゆい国頭	656	11%	140	11%	111	10%	233	8%	78	15%	119	16%	94	13%	372	10%		
2 サンライズひがし	142	2%	50	4%	34	3%	23	1%	16	3%	22	3%	51	7%	158	4%		
3 わんさか大浦パーク	105	2%	59	5%	6	1%	27	1%	16	3%	21	3%	30	4%	206	6%		
4 ネイチャーみらい館	43	1%	5	0%	5	0%	24	1%	8	2%	0	0%	33	4%	60	2%		
5 いこいの駅いずみ	76	1%	23	2%	14	1%	33	1%	11	2%	15	2%	28	4%	65	2%		
6 伊豆味みかんの里	149	3%	41	3%	38	4%	51	2%	17	3%	24	3%	38	5%	109	3%		
7 田空の駅はーそー	137	2%	15	1%	45	4%	52	2%	8	2%	17	2%	15	2%	121	3%		
8 熱帯ドリームセンター	172	3%	52	4%	52	5%	57	2%	6	1%	15	2%	18	2%	134	4%		
9 今帰仁村そーれー	218	4%	48	4%	59	6%	81	3%	10	2%	47	6%	21	3%	206	6%		
10 リカリカワルミ	297	5%	52	4%	87	8%	115	4%	33	6%	49	7%	33	4%	180	5%		
11 羽地の駅	365	6%	80	6%	68	6%	162	6%	49	10%	79	11%	62	8%	312	8%		
12 しまちゆらら	91	2%	18	1%	31	3%	38	1%	13	3%	14	2%	31	4%	99	3%		
13 「道の駅」許田	1,011	18%	224	18%	142	13%	513	19%	94	18%	156	21%	84	11%	440	12%		
14 おんなの駅「なかゆくい市場」	477	8%	78	6%	40	4%	314	11%	65	13%	74	10%	40	5%	295	8%		
15 琉球村	160	3%	33	3%	17	2%	104	4%	16	3%	13	2%	7	1%	33	1%		
16 ファーマーズマーケット	306	5%	99	8%	47	4%	120	4%	23	5%	9	1%	54	7%	360	10%		
17 「道の駅」ぎのざ	223	4%	39	3%	32	3%	126	5%	40	8%	35	5%	63	8%	235	6%		
18 マハイナウエルネスリゾート	182	3%	13	1%	146	14%	19	1%	2	0%	2	0%	7	1%	56	2%		
19 ゆがふいんおきなわ	57	1%	18	1%	37	3%	2	0%	0	0%	1	0%	8	1%	54	1%		
20 喜瀬ビーチパレス	92	2%	75	6%	0	0%	16	1%	0	0%	5	1%	1	0%	25	1%		
21 沖縄サンコーストホテル	56	1%	22	2%	4	0%	30	1%	3	1%	1	0%	2	0%	9	0%		
22 マリオット	75	1%	62	5%	0	0%	12	0%	0	0%	2	0%	0	0%	11	0%		
23 エグゼス	40	1%	3	0%	0	0%	36	1%	0	0%	0	0%	0	0%	12	0%		
24 かりゆしホテル	158	3%	5	0%	10	1%	142	5%	1	0%	6	1%	5	1%	31	1%		
25 ANA万座リゾート	81	1%	7	1%	4	0%	70	3%	0	0%	7	1%	3	0%	12	0%		
26 リザンシーパーク	187	3%	9	1%	4	0%	169	6%	0	0%	1	0%	2	0%	32	1%		
27 サンマリーナホテル	45	1%	2	0%	0	0%	43	2%	0	0%	0	0%	1	0%	31	1%		
28 ホテルモントレ	113	2%	0	0%	0	0%	113	4%	0	0%	0	0%	5	1%	23	1%		
29 カブリゾート	23	0%	0	0%	1	0%	22	1%	0	0%	0	0%	7	1%	10	0%		
30 本部グリーンパーク	32	1%	0	0%	30	3%	1	0%	0	0%	0	0%	4	1%	23	1%		
合計	5,769		1,272		1,064		2,748		509		734		747		3,714			
1人当たり訪問箇所	3		3		3		4		3		3		3		3			

- 宿泊地域別スタンプ数を見ると、地域によって店舗へ行く割合が異なる。例えば、名護宿泊者がリカリカワルミに行く割合は4%であるが、本部宿泊者は8%と多くなっている。
- 中部宿泊者は、「道の駅ぎのざ」に行く割合が8%と他地域の宿泊者と比べて高くなっており、那覇宿泊者は「道の駅許田」に行く割合が21%と非常に高い。

④前年度との比較

- 台紙配布数は前年度に比べ、2.6倍増の56,750枚配布となった。応募者は前年度に比べ1.5倍増の3,385名となった。応募者の内訳として、本土からの観光客は1.6倍増え、県民は1.2倍増えた。
- 宿泊地域別については、北部全域でも前年比約1.96倍の839人が増え、特に恩納村では、約2.77倍増の781名も増えた。他地域についてはほぼ全てが増加した。

表 スタンプラリー比較 概要

	平成27年度	平成26年度	比較
台紙配布数	56,750枚	21,550枚	前年比2.6倍
応募者数	3,385名	2,340名	前年比1.5倍
参加店舗	30店舗	17店舗	前年比1.8倍

表 宿泊地別 スタンプラリー参加者数(前年比)

宿泊地	平成27年度	平成26年度	前年比割合
国頭村	153	149	1.03
本部町	312	209	1.49
名護市	381	216	1.76
恩納村	781	282	2.77
北部全域	1,710	871	1.96
那覇市内	223	340	0.66
中部	157	116	1.35
その他地域	232	124	1.87
観光客合計	2,322	1,451	1.60
県民	1,063	889	1.20
合計	3,385	2,340	1.45

(3)成果と課題

①事業の成果

■参加者の増加

- ・ 今回ホテルと連携し、ホテル宿泊者に情報提供することで周遊促進を図り、多くのホテル宿泊者を周遊させることができた。特に、恩納村宿泊者の参加人数が他と比べて多かったのは、ホテルに設置したためと考えられる。

■やんばるの知名度向上

- ・ 実施期間内に 56,750 部配布し、多くの方に手に取ってもらったため、全体及び参加店舗にとってもやんばるの宣伝効果となり、認知度向上につながった。

■地域間交流人口の増加

- ・ ホテルと道の駅、農産直売所が連携をすることで、宿泊先と地域を結ぶことができ、地域内で人を周遊させ、交流人口を増やすということが出来た。

②事業の課題

■参加店舗直接的メリットの創出

- ・ 周遊先は道の駅や農産物直売所が主な目的地となったものの、ホテルは出発点として情報提供という位置づけなど役割分担を考える必要がある。

■自立運営の費用検討

- ・ 今後自立運営を検討するためには、ランニングコスト、手間の軽減や台紙の販売などを検討し、参加店舗が負担にならない運営方法を検討する必要がある。

第4章 北部周遊状況分析

4-1. 調査の目的

本調査は、やんばる地域の着地型観光を推進する連携機能の形成に向け、観光客の動向を把握するために実施するものである。具体的には、観光客が北部地域を周遊する際、どの経路を辿っているのかについて把握し、周遊、滞在、消費促進を図るべく施策を講じるための基礎資料とすることを目的とする。

4-2. 調査概要

本調査は、沖縄県北部地域において、観光客の周遊観光の動向を把握するため、「混雑統計®」を用いた行動分析を実施した。

*「混雑統計®」データは、NTT ドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスの オート GPS 機能 利用者より、承諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTT ドコモが総体的かつ統計的に 加工を行ったデータ。位置情報は最短 5 分毎に測位される GPS データ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

(1)調査の実施

本調査は、携帯電話の GPS 機能により取得した位置情報の動きを分析の対象としている。

(2)調査結果の分析

本調査は、沖縄県北部地域に訪れた観光客が「どの経路を主に周遊しているか」「目的地までの移動経路はどこか」等について分析するとともに、今後の周遊促進に係る課題の検討を行ったものである。調査には、「主要な経路上に設定したポイントを通過した人数」を集計した混雑統計データを用いて分析を行った。

本調査は、携帯電話の所有者の移動を計測した実数をベースに行うサンプル調査である。

調査は、名護市宿泊者と沖縄県外者(名護市に宿泊していない方)の区分で実施した。

■ 分析項目について

区分	内容
分析①	関所通過順番別人数(名護市宿泊者)(3ヵ月毎、1年毎)
分析②	関所通過順番別人数(沖縄県外者)(3ヵ月毎、1年毎)※宿泊を伴わない北部来訪者
分析③	メッシュ別立寄り者人数(250m メッシュ)(名護市宿泊者)(3ヵ月毎、1年毎)
分析④	メッシュ別立寄り者人数(250m メッシュ)(沖縄県外者)(3ヵ月毎、1年毎)
分析⑤	メッシュ別立寄り者人数(1km メッシュ)(名護市宿泊者)(3ヵ月毎、1年毎)
分析⑥	メッシュ別立寄り者人数(1km メッシュ)(沖縄県外者)(3ヵ月毎、1年毎)

<分析における立寄りの定義について>

- ・沖縄県北部下記エリア内において、メッシュ内に 15 分以上滞在

(恩納村、金武町、宜野座村、名護市、本部町、伊江村、今帰仁村、大宜味村、東村、国頭村、伊平屋村、伊是名村)

<メッシュについて>

- ・「メッシュ」とは、緯度・経度に基づき地域を隙間なく網の目(メッシュ)の区域に分けたものである。
- ・「メッシュ」は、昭和 48 年 7 月 12 日行政管理庁告示第 143 号に基づく「標準地域メッシュ」を使用し作成されており、下記のように区分されている。
- ・今回のデータは、「基準地域メッシュ」1km、「4分の1地域メッシュ」250m を採用している。

※下表着色部分

■ 地域メッシュの区分方法について

区画の種類	区分方法	緯度の 間隔	経度の 間隔	一辺の 長さ	地図との関係
第1次地域区画	全国の地域を偶数緯度及びその間隔(120分)を3等分した緯度における緯線並びに1度ごとの経線とによって分割してできる区域	40分	1度	約 80km	20万分の1地勢図の1図葉の区画
第2次地域区画 (統合地域メッシュ)	第1次地域区画を緯線方向及び経線方向に8等分してできる区域	5分	7分 30秒	約 10km	2万5千分の1地勢図の1図葉の区画
基準地域メッシュ (第3次地域区画)	第2次地域区画を緯線方向及び経線方向に10等分してできる区域	30秒	45秒	約1km	
2分の1地域メッシュ (分割地域メッシュ)	基準地域メッシュ(第3次地域区画)を緯線方向、経線方向に2等分してできる区域	15秒	22.5秒	約 500m	
4分の1地域メッシュ (分割地域メッシュ)	2分の1地域メッシュを緯線方向、経線方向に2等分してできる区域	7.5秒	11.25秒	約 250m	

資料:総務省統計局

(3)解析期間

調査対象の抽出にあたり、位置情報の解析期間を以下のとおりとした。この期間に、実際に沖縄県北部地域に旅行した人を調査対象としている。

◇1年間:2014年1月1日(水)～2014年12月31日(水)

◇3カ月:2014年1月～3月、4月～6月、7月～9月、10月～12月

(4)調査対象

本調査における調査対象は、解析期間中の「沖縄県北部地域旅行者」である。調査対象の条件をそれぞれ下記のように設定した。

対象者についても2種類定義し、抽出している。

- ① 名護市宿泊者:名護市に自宅及び勤務地を持たず、かつ名護市内に宿泊したと判定されるユーザー。
- ② 沖縄県外者:沖縄県に自宅及び勤務地を持たないユーザー。

■ サンプル抽出の方法

区分	内容
分析①	通過判定ラインを1度でも通過し、 名護市に1度でも宿泊した人を集計対象とし、 <u>名護市に自宅または勤務地がある人を除外する</u>
分析②	通過判定ラインを1度でも通過した人を集計対象とし、 <u>沖縄県に自宅または勤務地がある人を除外する</u>
分析③	沖縄県北部の250mメッシュに1度でもStayし、 名護市に1度でも宿泊した人を集計対象とし、 <u>名護市に自宅または勤務地がある人を除外する</u>
分析④	沖縄県北部の250mメッシュに1度でもStayした人を集計対象とし、 <u>沖縄県に自宅または勤務地がある人を除外する</u>
分析⑤	沖縄県北部の1kmメッシュに1度でもStayし、 名護市に1度でも宿泊した人を集計対象とし、 <u>名護市に自宅または勤務地がある人を除外する</u>
分析⑥	沖縄県北部の1kmメッシュに1度でもStayした人を集計対象とし、 <u>沖縄県に自宅または勤務地がある人を除外する</u>

※「Stay」:15分間以上エリア内に滞在、「宿泊」:午前4時に滞在

「自宅エリア」:解析期間中に、サンプルが「夜間」に最も長く滞在したエリア

「勤務エリア」:解析期間中に、サンプルが「昼間」に最も長く滞在したエリア